

一般

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名		盛岡市内バス運営協議会事務事業			事業コード	0099
担当課等	所属名	建設部 交通政策課		担当係名		
	課長名	建設部 交通政策課	担当者名	西村ふみ代	電話番号	2762

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	快適な都市機能	コード 7	施策	都市活動を支える交通環境の構築	コード 8
	基本事業	公共交通機関の利便性向上と利用促進	コード 2	関連予算 費目名	一般会計 8款 4項 9目 バス関連事務(001-03)	
	特記事項					
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度			⇒ (開始年度 昭和55年度～)		
事務事業の概要	・市民等を対象に公共交通機関であるバスの利用促進を行うこと。 ・市民等から寄せられるバス路線等に関する要望について協議を行うこと。					
根拠法令等	盛岡市内バス運営協議会規約					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
・昭和55年に公共性の高いバスにおけるサービスレベル向上などを目的とし、市とバス事業者の協議機関として設置したもの。 ・市民等から受けた要望に関し市とバス事業者で協議を行い、バスの利便性の向上に歩調を合わせた取組みを行おうとしたもの。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
・市民等からのバス路線、バス停、運行ダイヤ、運賃等に係る要望等が寄せられている。 ・市議会等からバスが運行されていない地域での公共交通機関確保の要望が寄せられている。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどう変化したか。今後の見通しはどうか						
・近年、モータリゼーションの進展に伴いマイカー利用者が増加し、その結果バス利用者が減少する傾向が現れ、公共交通機関としての役目を担うバス事業は厳しい運営状況が続いている。 ・平成14年2月の道路運送法改正により、乗合バス事業への参入・撤退が、許可制から届出制になり、以前より容易に路線開設・廃止等ができるようになり、不採算路線は、減便、廃止に至るケースが多くなっている。また、他方では、市民等から、地域の公共交通機関確保の要望が寄せられるようになってきている。						

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 当年度内に寄せられた要望の件数	単位	件
			B. 前年度までの要望で継続検討としていた要望件数	単位	件
			C. 市民	単位	人
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 協議会の開催回数	単位	回
			B. 利用促進に係るテレビ、ラジオスポット放送等の回数	単位	回
			C. 利用促進に係る新聞広告掲載、広報もりおか掲載	単位	回
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 当年度内に寄せられた要望のうち、実現された要望の件数 【指標の性格: ● 上げる ○ 下げる ○ 維持する】	単位	件
			B. 前年度以前から継続検討としていた要望のうち、実現、対応完了となった件数 【指標の性格: ● 上げる ○ 下げる ○ 維持する】	単位	件
			C. 輸送人員(バス) 【指標の性格: ○ 上げる ○ 下げる ● 維持する】	単位	人
⑦結果 (上位基本事業の意図:上位の基本事業にどのよう貢献するか)	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	1日当たりバス利用者数(単位:人) 1日当たり鉄道利用者数(単位:人)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	当年度内に寄せられた要望の件数	件	12	27	-	32	-	-	年度
対象 指標B	前年度までの要望で継続検討としていた要望件数	件	14	30	29	20	20	-	年度
対象 指標C	市民	人	292,035	297,267	297,267	298,148	298,148	-	年度
活動 指標A	協議会の開催回数	回	2	4	2	1	2	-	年度
活動 指標B	利用促進に係るテレビ、ラジオスポット放送等の回数	回	20	66	20	77	20	-	年度
活動 指標C	利用促進に係る新聞広告掲載、広報もりおか掲載	回	-	3	1	2	1	-	年度
成果 指標A	当年度内に寄せられた要望のうち、実現された要望の件数	件	1	6	-	未確定	-	-	年度
成果 指標B	前年度以前から継続検討としていた要望のうち、実現、対応完了となった件数	件	4	1	-	未確定	-	-	年度
成果 指標C	輸送人員(バス)	人	12,673,244	13,016,483	未定	未確定	未定	-	年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	143	143	143	143	143		*****
財源 内訳	④国	千円							*****
	⑤県	千円							*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	143	143	143	143	143	0	*****
	⑧その他	千円							*****
	合計(④~⑧)(=A)	千円	143	143	143	143	143		*****
	延べ業務時間数	時間	200	400	200	200	200		*****
	職員人件費(B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	800	1,600	800	800	800	0	*****
	トータルコスト(A)+(B)	千円	943	1,743	943	943	943	0	*****

3. 事務事業の評価(See)


必要性評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由: 市民等からの要望を受けて利便性向上を協議する場となるとともにバス利用促進広報を行っている。
	② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 市民等が利用する公共交通機関であるバス路線の利便性向上のための協議及び利用促進に市が参画する必要がある。
	③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 盛岡市内バス運営協議会設立の目的は、市民等に対する公共交通機関のサービスレベルの向上である。
	④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 市民等からの要望を実現に繋げることが、バスのサービスレベルを向上させ、バス利用者数の増加に結びつくため。
有効性評価	⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 向上余地がない	その内容: バスに関する要望を実現するためには、利用者の意識、土地利用、道路整備状況などバス事業者に起因しない要素もあるため、総合的に調整する方法の検討が必要である。
	⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容: 市民等から寄せられる要望等に係る情報の共有及び課題解決に向けた関係団体の協議の場がなくなり、要望が伝わりにくくなったり、実現されにくくなる可能性があるほか、ばらばらな対応となる可能性がある。
	⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 類似事業がある <input type="radio"/> 類似事業がない	事業名: ・総合交通施策懇話会(総合的な交通施策について審議を行う) ・盛岡市地域公共交通会議(地域の実情に応じた適切な乗合旅客運送の態様及び運賃・料金等に関する事項について審議を行う) ・盛岡市バスの日まつり実行委員会(バスの日まつりの開催を通じバス等の公共交通機関の利用促進と交通渋滞の緩和を図る) ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input checked="" type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> できない その内容: 各事業にバス事業者及び市が関わっているが、それぞれ独立した事業となっている。各事業を連携させることで成果が向上する可能性がある。
効率性評価	⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 盛岡市内バス運営協議会の現在の活動内容は、必要最低限のものである。
	⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 盛岡市内バス運営協議会の現在の活動内容は、必要最低限のものである。
公平性評価	⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 盛岡市内バス運営協議会で協議している内容は、既に日常においてバスを利用している市民等のみならず、これからバスを利用する可能性のある市民等も対象としている。
	⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: ・不特定多数の市民等を対象とする事業であるため、盛岡市内バス運営協議会の運営負担金は、直接、市

民等に対して負担を求める性質のものではない。
・盛岡市内バス運営協議会構成団体における運営費用負担割合は、市における行政的課題の要素、バス事業者ごとの運行路線本数・事業規模等の要素が考慮されており妥当な割合である。

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革／改善方向	①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1、代替案その2とすること 類似事業と連携した取組みの可能性について検討する。 ②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？ (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む) 類似事業の設置経緯、目的、構成員が異なるため、調整に時間を要する。
---------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

5. 課長意見

一次評価	(1)一次評価者としての評価結果 ① 必要性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり ② 有効性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり ③ 効率性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり ④ 公平性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり	(2)全体総括(振り返り、反省点) 本協議会は、事業者に市民要望を伝える唯一の場としての役割を担っているが、市民要望を様々な視点で検討することも必要となっている。
今後の方向性と改革改善案	(3)今後の事務の方向性(改革改善案) <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携	
		
方向付けの理由と改革改善の内容 類似事業との連携検討において、様々な視点での意見を取り入れることも視野に入れ取り組む。		